

サーチライト With Pastor Jon 黙示録 第5章 パート1

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」 ヘブル4:7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rin

黙示録 5 章。

今夜は、御座の回りで主を礼拝する教会を見ていきます。

4 章・5 章で教会は天国にいます。

教会が天国にいる間 (4-5 章)、地上では大患難が起こっています。(6-19 章)

そして、大患難が終わりに近づくと主が戻って来られます。

これを『再臨』と言います。

19 章後半で主は再臨され、私達も主と一緒に戻って来ます。

そして主は王国を建て上げ、エルサレムに入られます。

それから 20 章に書かれている通り、主はこの地を千年間統治します。

これを『千年王国』と言います。

このように時系列で見ると、簡単に分かりますね。

さて、今夜、私たちはまだ天国にいます。

4 章では、天に挙げられたヨハネと一緒に舞台を見ることができました。

つまり、天の御座を見て、その息をのむほどの栄光と神秘、美しさに慰められました。

次の 5 章は、最もパワフルな章の一つで、ダイナミックでインパクトの強いドラマ、カギとなる出来事が始まります。

ステージは整いました。4 章でカーテンが上がり、5 章で開演。

このドラマが理解できれば、どうしてこの世がこんな状態なのかが理解できるでしょう。
非常に多くの人々が混乱し無気力で、さっぱり訳が分からず、つじつまが合わないこの世のことに関わらないように、目を逸らしています。
鬱になりストレスを溜め協調できない。
でも皆さんと私、この書を学ぶ恩恵に与った人たちは、どうしてこの世がこんな状態なのかを理解し、最終的にどうなるのかも分かるのです。

では始めましょう。

また、私は、御座にすわっておられる方の右の手に巻き物があるのを見た。それは内側にも外側にも文字が書きしるされ、七つの封印で封じられていた。(黙示録 5:1)

ヨハネは今、天国の御座の回りにいて巻き物を見ました。
それが実際にはこの書なんですわね。
『書』と言っても、当時はこんな本ではありませんでした。
それはパピルス紙の巻き物で、20 cm×25 cmのパピルス紙に 7,5 cm 巾に書き、それらを水平につなげて木の棒に巻き付けました。
読む時はそれを解いていきます。
ほとんどの人が巻き物を見たことがあるでしょう。
一つ大事なことは、巻き物に書く時は、パピルス紙の片面だけに記入されるのです。
なぜなら、滑らかな面とザラザラした面があるから。
でも面白いことに、ここに出てくる巻き物には、両面に書かれています。

それ（巻き物）は内側にも外側（ザラザラした面）にも文字が書きしるされ、七つの封印で封じられていた。(黙示録 5:1)

これはユダヤの歴史を知らないと理解できないでしょうが、巻き物にされる特殊な書類、しかも内側・外側の両面に書かれて、七つの封印で封じられているもの、これは「土地の権利書」です。
通常は権利書も片面にしか書かれません。
内側の滑らかな面に書かれ、封印が一つ押されます。
詳しく知りたい人は、エレミヤ書 32 章を見て下さい。
エレミヤ書 32:6-29 で、彼が土地を購入した時、巻き物に記録され、封印が一つ押されています。
これで、土地購入について、権利書を巻き物に記録し封をすることによって、法的に有効になるということが聖書の中で確認できました。

しかし問題はここからです。

土地を購入した後、突然経済的に困難な状況になって自己破産してしまい、もうこれ以上の支払いが不可能になると、ユダヤの法律では、人々が簡単に土地を失わないようになっていて、巻き物の外側に負債額

と土地を失った理由が記録され、七つの封印で封がされます。

そして、その土地の元所有者として、市の職員に「今、私は条件を満たすことができます。支払い可能です。」と訴えることができる7年間の猶予が与えられています。

土地を失った場合、7年間は「買い戻します。」とか「支払い終えました。」など訴えることができ、巻き物の外側に書いてある条件を満たせば封印が解かれるのです。

私はここでユダヤの法律や土地購入について語るつもりはありません。

ただ、このことによって、5章の中で、御座に座る方の手にあるものが何であるかが分かるでしょう。

これは権利書、地球の権利書です。

元々地球の権利書は、エデンの園でアダムに与えられました。

神が地球を創造し、「アダム、これはあなたに与えたものだ。全てを従えよ。」と言われたのです。

「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。」(創世記 1:28)

神は地球の権利書をアダムに与えましたが、彼はその所有権を失ってしまいました。

エデンの園で、アダムとエバが善悪の知識の木の実を食べた時に、彼らは霊的に破産状態になり、彼らに与えられた贈り物は剥奪されたのです。

サタンが来てエバをだまし、禁断の実を食べさせました。

アダムはよく知っていたのです。

彼は敵にだまされたのではありません。

自分が何をしているのか分かっている、明らかに計算づくの反逆でした。

だから聖書はこれをアダムの罪と呼び、それによって、全世界の崩落が引き起こされたのです。

エバはだまされました。

アダムはサタンの指示に従い、その支配下に陥って、自分が何をしているのか分かっている禁断の実を食べました。

その結果、地球の権利書をサタンに手渡してしまったのです。

それで、使徒パウロはサタンを「この時代の神」「この世の神」(第2コリント 4:4)と呼び、イエスは「この世を支配するもの」(ヨハネ 12:31)と呼んだのです。

だからマタイ 4章で、サタンがイエスを高い山に連れて行き、

この世の全ての国々とその栄華を見せて、言った。「もしひれ伏して私を拝むなら、これを全部あなたに差し上げましょう。」(マタイ 4:8-9)

と言った時、イエスは「お前にそれはできない。」とは言いませんでした。

私があるあなたを高い山の上に連れて行って、「ホラ、あの町もこの町もよく見てごらん。よく聞いて。私を拝みなさい。そしたら全部あなたのものだ。」と言ったとしたら、「何を言っているの？頭がおかしい！」と言って、山を下りるでしょう。

私にはそんな権利はないし、地主でもないことをみんなが知っているから。

でも、サタンがイエスに「自分を拝め。そうすれば全てを与える。」と言った時、イエスは否定しませんでした。

『あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えよ。』と書いてある。(マタイ 4:10)

「わたしはわたしの父だけを拝み、父にだけ仕える。たとえ、この世を差し出されても、わたしはお前を拝みはしない。」と言ったのです。

「わたしは御言葉が命じる通り、父だけを拝む。お前のその手には乗らない。」

ようやくある事が見えてきました。

「神がそんなに優しいなら、もしこの世が神のものなら、どうして戦争が起こるのか。癌になるのか。洪水などの大災害、エイズ、鬱、レイプ、不正…が起こるのか。」

神のせいにするんじゃない！

人間には完璧な地球が与えられていました。

人間も同じように完璧でした。

神は人間と、愛の関係を築くことを望んでいたからです。

禁断の実を食べることによって、寛大で優しい愛の父に反逆するというなら、それを行う機会が与えられました。

そして、人間アダムは神に反逆することを選び、世をサタンに渡してしまったのです。

「どうして戦争や飢饉、災害など色んな悪いことが起こるのか。」と、人々は地震や火山噴火、洪水をしばしば「神の業」と言いますが、そうではありません。

聖書の中で面白いと思ったのは、ガリラヤ湖上で嵐が舟を襲った時、

イエスは起き上がって、風をしかりつけ、湖に「黙れ、静まれ。」と言われた。

(マルコ 4:39)

ここで主が使った「静まれ」という言葉は、主が悪霊に対して使ったのと同じ言葉です。

私が言いたいのは、世の中が今のようにメチャクチャなのは、人間がこの世をサタンに手渡したからで、サタンが問題なのです。

神のせいにしてはいけません。

主に反逆してサタンに世を渡したのは人間で、だから私たちが体験するような大惨事や悲しみ、飢餓、戦争、死や病気があるのです。

アダムが誤った結果、世の中が雑草だらけになりました。

だから神を、主を責めてはいけません。

よく聞いて下さい。

アダムが失敗し破産したため、権利を失い、ずっと剥奪され続けてきました。

しかし、権利書である巻き物の外側には、世を取り戻し、所有し続けるための条件が記録されています。それが封印された破産書類なのです。

これで大体分かりましたね。

また、私は、御座にすわっておられる方の右の手に巻き物があるのを見た。それは内側にも外側にも文字が書きしるされ、七つの封印で封じられていた。(黙示録 5:1)

また私は、ひとりの強い御使いが、大声でふれ広めて、「巻き物を開いて、封印を解くのにふさわしい者はだれか。」と言っているのを見た。(黙示録 5:2)

ふさわしいのは誰か。

言い換えると、贖いのためのこの条件を満たせるのは誰か。

再び支配する権利があるのは誰か。

ここで「誰がやりたいか。」とは言っていないことに注目して下さい。

多くの人々が「巻き物を取りたい。支配したい。」と求めてきました。

アレキサンダー大王も世界を征服し支配しようとしました。

ジンギスカンもナポレオンもヒトラーもヒラリーも…。

「私が支配者になる!」「私に開けさせろ!」「私が引き継いでやる!」「私にできるか試してやる!」

独裁者、皇帝、王、女王、その他色々、多くの人たち。

しかし御使いは「誰がやりたいか。」と聞いてはおらず、「ふさわしいのは誰か。」と言っていて、この違いは大きいのです。

「この巻き物を開くのにふさわしい者、七つの封印を解くのにふさわしい者は誰か。」

しかし、天にも、地にも、地の下にも、だれひとりその巻き物を開くことのできる者はなく、見ることのできる者もいなかった。(黙示録 5:3)

この時、天国で、未だかつて一度もなかったことが起こりました。

天国で涙が流されたのです。

巻き物を開くのに、見るのに、ふさわしい者がだれも見つからなかったので、私は激しく泣いていました。(黙示録 5:4)

ヨハネはこれから始まる事を理解していたので、激しく泣いたのです。「ノー!!」

世の中は更にどんどんひどくなり、益々悪くなっていく。

「サタンと悪霊に憑りつかれた状態が、7年の時が終わるまで続くんだ!!」

私は分かります。皆さんもそうでしょう。

9歳の息子のベンジャミンを、10歳の娘のメアリーを見て思うのです。(※1997年のメッセージです。)

過去30年の間に世の悪が増大したように、これからもどんどん悪くなっていくなら、彼らが私の歳になった時、世の中はどうなっているのでしょうか。

この30年で、私たちはソドムとゴモラよりもひどくなってしまいました。

世代が進むにつれ世と妥協していきます。

「風と共に去りぬ」の最後の場面で、クラーク・ゲブルが言った罵りの一言にクリスチャンたちが憤って、全てのクリスチャンコミュニティがこの映画をボイコットし、国全体が揺さぶられました。

想像できますか。そのたった一言がコミュニティを…

それもそんなに昔のことではありません。
今はどうですか。今、あの映画はファミリー向けです。

世代が進むにつれ、間違いや不道德、悪が増すと言われていきます。
小児ポルノを見に、トレンチコートを着て帽子を被り、サングラスで変装してコッソリ行っていたのは、そんなに遠い昔ではありません。
どこかにまだ恥の部分があって、ある程度自制が利いていました。
けれども今は、自宅で自分のパソコンの前に座って、最もいやらしくて、不潔で、悪で、淫らなものをダウンロードして、しかもそのことを“誰も知らない。”
それはソドムやゴモラと同じ罪。
個人的には、今の方がもっとひどいと思います。
正直に言えば、聖書を、ここに書かれている話を知らなかったら、「世界は一体どうなっているんだ!?’
「どうしてこんなことに…」「ベンやメアリー、彼らの子供たちの時代はどうなってしまうのだろう。」と嘆いていたでしょう。
私たちの文化は年々、益々暗く、不潔で悪くなっています。

ヨハネは「ああ、ダメだ…」と言いました。
彼が牧師だった時代は迫害が厳しく、クリスチャンたちは死に、ローマ文化も自身の悪や不正が世界に影響を与えて滅びかけていました。
ヨハネは激しく泣きました。
「このまま見ていられない。」彼は理解して激しく泣いた。
こうして、恐らく天国で初めて涙が流されたのです。
人々を思う男、牧師ヨハネ。
アジア地域で伝道した使徒の頬を、涙が伝って流れ落ちました。
つづく

あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。
あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。
上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、どんな形をも造ってはならない。
それらを拜んではならない。それらに仕えてはならない。
あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神、わたしを憎む者には、父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、恵みを千代にまで施すからである。
あなたは、あなたの神、主の御名を、みだりに唱えてはならない。
主は、御名をみだりに唱える者を、罰せずにはおかない。
安息日を守って、これを聖なる日とせよ。
あなたの神、主が命じられたとおりに。(申命記 5:7-12)

あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が命じられたとおりに。

それは、あなたの齢が長くなるため、また、あなたの神、主が与えようとしておられる地で、しあわせになるためである。

殺してはならない。

姦淫してはならない。

盗んではならない。

あなたの隣人に対し、偽証してはならない。

あなたの隣人の妻を欲しがってはならない。

あなたの隣人の家、畑、男奴隷、女奴隷、牛、ろば、すべてあなたの隣人のものを、欲しがってはならない。(申命記 5:16-21)

